



平成28年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年4月13日

上場会社名 シンワアートオークション株式会社
 コード番号 2437 URL <http://www.shinwa-art.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年4月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 倉田 陽一郎
 (氏名) 益戸 佳治

TEL 03-5537-8024

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年5月期第3四半期の連結業績(平成27年6月1日～平成28年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第3四半期	2,456	88.0	134	—	115	—	33	—
27年5月期第3四半期	1,306	54.9	△122	—	△131	—	△98	—

(注) 包括利益 28年5月期第3四半期 33百万円 (—%) 27年5月期第3四半期 △102百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年5月期第3四半期	5.89	5.85
27年5月期第3四半期	△17.33	—

平成27年5月期第3四半期の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年5月期第3四半期	3,052	1,639	53.6	285.19
27年5月期	3,360	1,640	48.5	285.56

(参考) 自己資本 28年5月期第3四半期 1,634百万円 27年5月期 1,630百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年5月期	—	0.00	—	6.00	6.00
28年5月期	—	0.00	—	—	—
28年5月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年5月期の連結業績予想(平成27年6月1日～平成28年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,297	11.9	263	238.3	247	369.4	160	878.8	27.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 5「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年5月期3Q	6,594,900 株	27年5月期	6,562,900 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年5月期3Q	862,800 株	27年5月期	854,800 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年5月期3Q	5,718,617 株	27年5月期3Q	5,659,138 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成27年6月1日～平成28年2月29日）におけるわが国の経済は、個人消費が底堅い動きを示すとともに、堅調な企業業績を背景に雇用環境には量的改善から質的改善への変化の兆しが見られ、全体としては緩やかな回復基調にありました。しかしながら、海外では地政学リスクが高まっており、中国をはじめとするアジア新興国や資源国等の景気減速、原油価格の下落とともに引き続き国内景気を押し下げるリスク要因となっております。

このような環境のもと、当社グループは、当社の主たる事業であるオークション関連事業において高額美術品を中心とした優良作品のオークションへの出品及び富裕層を中心とした美術品コレクターのオークションへの参加促進に努めました。また、新規事業のエネルギー関連事業では低圧型太陽光発電施設の販売に集中的に取り組み、もう一つの新規事業である医療機関向け支援事業では、新たに医療ツーリズムの分野に進出することを決定し、グループ全体の安定的な収益の早期確保に向けた体制の構築に努めました。

セグメントの業績は次のとおりです。

当社グループは、当第3四半期連結累計期間において、従来の「再生可能エネルギー関連事業」から「エネルギー関連事業」へ事業名称を変更しております。

①オークション関連事業

当第3四半期連結累計期間は、取扱高2,597,846千円（前年同期比7.1%減）、売上高686,210千円（前年同期比4.4%減）、セグメント損失40,035千円（前年同期は110,400千円のセグメント損失）となりましたが、これらの実績値は、第2四半期及び第4四半期にオークションが多く開催されるというオークション関連事業における季節的変動要因を受けたものであり、当連結会計年度の業績予想の範囲内で推移しているものであります。

種別の業績は次のとおりです。

種 別	第27期第3四半期連結累計期間							
	自 平成27年6月1日 至 平成28年2月29日							
	取扱高 (千円)	前年比 (%)	売上高 (千円)	前年比 (%)	オークション 開催数	オークション 出品数	オークション 落札数	落札率 (%)
近代美術オークション	1,311,360	△11.4	289,949	△0.3	4	468	405	86.5
近代陶芸オークション	250,585	39.2	51,175	11.5	4	703	660	93.9
近代美術PartⅡオークション	211,370	38.9	47,672	22.4	4	1,273	1,154	90.7
その他オークション	592,841	△11.0	117,605	△21.7	9	3,394	2,173	64.0
オークション事業合計	2,366,156	△4.5	506,402	△3.7	21	5,838	4,392	75.2
プライベートセール	171,327	△30.8	136,259	△10.1				
その他	60,362	△16.1	43,547	7.9				
オークション関連 その他事業合計	231,690	△27.5	179,807	△6.3				
オークション関連事業合計	2,597,846	△7.1	686,210	△4.4				

(注) 1. 取扱高の前年比率と売上高の前年比率のかい離の大きな要因のひとつに、商品売上高の増減があります。商品売上高は、オークション落札価額に対する手数料収入、カタログ収入、年会費等と同様に当社の売上高を構成する要素であり、当社の在庫商品を販売した場合、その販売価格（オークションでの落札の場合には落札価額）を商品売上高として、売上高に計上することとしております。

2. オークション関連事業の事業構造として、オークションが第2四半期及び第4四半期に多く開催される傾向があるため、四半期連結会計期間別の業績には季節的変動があります。

i) オークション事業

当第3四半期連結累計期間は、合計で21回のオークションを開催しました。内訳は以下のとおりです。

近代美術オークション、近代陶芸オークション、近代美術Part IIオークション及びBags / Jewellery & Watchesオークションを各4回、ワインオークションを2回、西洋美術オークション、戦後美術&コンテンポラリーアートオークション、特別オークションとして木梨憲武オークションを各1回。

主力の近代美術オークションは、前年同期間比で出品点数17.5%減、落札点数12.5%減と減少いたしました。平均落札単価は前年同期間比で1.6%増と微増、また、エスティメイト下限合計額に対する落札価額の比率も平均で138.6%と高水準で推移いたしました。

近代陶芸オークションは、前年同期間比で出品点数3.7%増、落札点数4.1%増と増加しました。特に当第3四半期連結累計期間においては、古美術を含むオークションを2回開催し、好調であったことから、平均落札単価も前年同期間比で35.0%増と大きく増加、またエスティメイト下限合計額に対する落札価額の比率も平均で140.4%と高水準で推移いたしました。

近代美術Part IIオークションは、前年同期間比で出品点数16.4%増、落札点数16.2%増と増加いたしました。平均落札単価は前年同期間比で19.8%増加、また、エスティメイト下限合計額に対する落札価額の比率も平均で133.5%と高水準で推移いたしました。

その他オークションでは、ワインオークションが前年同期間の実績を大きく上回り、また戦後美術&コンテンポラリーアートオークションの開催が収益に貢献しましたが、「棟方志功―漆黒の宇宙、紅色のいのち」を開催した前年同期間との比較では、取扱高、売上高は共に減少しております。

ii) オークション関連その他事業

プライベートセール部門では、当第3四半期連結累計期間も積極的な取り扱いに努めました。その他、貴金属等買取サービスを積極的に行いましたが、前年同期間との比較では、取扱高、売上高ともに減少いたしました。

②エネルギー関連事業

50kW級の低圧型太陽光発電施設の販売に関しましては、当第3四半期連結累計期間は60基を販売いたしました。1基当たりの売上及び売上原価はともに計画を下回って推移しているものの、利益面に与える影響は少なく、前期から見込んでおりました生産性向上設備投資促進税制の適用を目的とした需要が昨年6月下旬より具体的に出はじめ、昨年7月から対象の太陽光発電設備に経済産業省からの認可が下りはじめて以降、販売数は順調に推移しております。

その他、子会社が保有しておりました穂北太陽光発電所の売却、子会社保有の太陽光発電施設による売電事業等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期間比200.3%増の1,767,870千円、セグメント利益は、175,524千円（前年同期間は9,400千円のセグメント損失）となりました。

なお、平成28年3月15日に公表いたしました「子会社における債権の取立不能又は取立遅延のおそれに関するお知らせ」のとおり、当社子会社において売掛債権に回収懸念が生じており、当第3四半期連結累計期間におきまして27,534千円の貸倒引当金繰入額を特別損失に計上いたしました。

③その他

医療機関向け支援事業におきましては、診療報酬債権ファクタリング事業を一旦凍結し、新たに医療周辺事業として、日本を含めたアジアの富裕層に最先端の医療技術やより良い品質の医療サービスを紹介する医療ツーリズムを収益の柱とするべく、高度医療サービスや高度医療健診を提供する医療機関や提携医療機関等との具体的な折衝を行っております。当第3四半期連結会計期間は、香港において孫会社を取得し、香港での中国銀聯カードの決済機能を保有するCoporate Business Network Limitedと当該孫会社との間で業務提携を締結し、新たに合弁会社を設立することいたしました。これは、主に日本の医療サービスを利用する中国・アジアからのインバウンド旅行者の獲得を目的としたものであり、当該合弁会社の設立は、その決済プラットフォームを構築することを目的としたものであります。その他、医療コーディネーター業務や医療通訳養成講座を開始しております。

また、新たな事業として、当第3四半期連結会計期間より損害保険代理業を開始いたしました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の業績は、前年同期間比で大幅な増収増益を達成いたしました。売上高2,456,618千円（前年同期間比88.0%増、対前年増加額1,149,745千円）、営業利益134,350千円（対前年増加額256,915千円、前年同期間は122,565千円の営業損失）、経常利益115,575千円（対前年増加額246,860千円、前年同期間は131,285千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益33,687千円（対前年増加額131,787千円、前年同期間は98,099千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、3,052,398千円となり、前連結会計年度末と比べ308,363千円減少いたしました。その主な内訳は現金及び預金の減少318,697千円、オークション未収入金の減少242,725千円と機械装置及び運搬具の減少271,406千円、商品の増加278,915千円、前渡金の増加228,040千円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、1,412,572千円になり、前連結会計年度末に比べ307,363千円減少いたしました。その主な内訳はオークション未払金の減少325,076千円、長期借入金(1年内返済含む)の減少277,764千円と短期借入金の増加239,500千円、役員賞与引当金の増加53,090千円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,639,826千円になり、前連結会計年度に比べ1,000千円減少いたしました。その主な内訳は資本金の増加3,714千円、資本剰余金の増加3,714千円と新株予約権の減少5,365千円、自己株式の増加による減少2,125千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績及び現状の事業状況、事業環境を勘案した結果、概ね平成27年12月21日に公表いたしました業績予想の範囲内で推移しており、現時点において同予想値に変更はありません。

なお、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間において、特定子会社の異動はありませんが、エーペック株式会社（当社の連結子会社）は、SHINWA MEDICO HONG KONG LIMITED（旧LYS BLANC, H. K. CO., LIMITED）の株式の全部を取得したため、連結の範囲に含めることといたしました。また、Shinwa Myanmar Co., Ltd. を新たに設立し、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲に含めることといたしました。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

会計上の見積りの変更

（たな卸資産）

当社は従来、たな卸資産の評価基準について、取得から一定の期間を超える場合には原則として一定の率に基づき定期的に帳簿価額を切り下げた価額をもって貸借対照表価額としておりましたが、たな卸資産の保有、販売状況等に鑑み、たな卸資産に係る収益性の低下の事実をより適切に財政状態及び経営成績に反映させるため、第1四半期連結会計期間より、帳簿価額切り下げに係る一定の期間及び一定の率について変更することとしました。

この結果、従来の方と比べて、当第3四半期連結累計期間の売上原価が95,822千円減少し、営業利益及び経常利益はそれぞれ同額増加し、税金等調整前四半期純利益は同額増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,446,531	1,127,834
売掛金	52,734	33,923
オークション未収入金	261,616	18,891
商品	352,947	631,863
仕掛品	292,581	247,960
前渡金	139,975	368,015
その他	163,762	216,202
貸倒引当金	△395	△34
流動資産合計	2,709,754	2,644,656
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,770	4,644
機械装置及び運搬具(純額)	528,525	257,118
土地	22,500	30,500
その他(純額)	3,616	2,609
有形固定資産合計	560,412	294,872
投資その他の資産		
その他	104,523	154,281
貸倒引当金	△13,928	△41,411
投資その他の資産合計	90,595	112,869
固定資産合計	651,008	407,742
資産合計	3,360,762	3,052,398
負債の部		
流動負債		
買掛金	31,896	33,497
オークション未払金	403,362	78,286
短期借入金	361,500	601,000
1年内返済予定の長期借入金	287,227	37,852
未払法人税等	43,365	72,798
賞与引当金	18,446	11,077
役員賞与引当金	-	53,090
その他	172,273	154,829
流動負債合計	1,318,070	1,042,430
固定負債		
長期借入金	318,728	290,339
退職給付に係る負債	37,800	40,750
資産除去債務	7,497	-
その他	37,839	39,052
固定負債合計	401,864	370,141
負債合計	1,719,935	1,412,572

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	926,742	930,457
資本剰余金	532,026	535,740
利益剰余金	394,484	393,922
自己株式	△221,530	△223,655
株主資本合計	1,631,723	1,636,465
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,708	△1,708
その他の包括利益累計額合計	△1,708	△1,708
新株予約権	9,893	4,528
非支配株主持分	919	541
純資産合計	1,640,827	1,639,826
負債純資産合計	3,360,762	3,052,398

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)
売上高	1,306,873	2,456,618
売上原価	850,039	1,648,632
売上総利益	456,833	807,986
販売費及び一般管理費	579,398	673,636
営業利益又は営業損失(△)	△122,565	134,350
営業外収益		
受取利息	307	463
受取査定報酬	568	222
為替差益	2,860	-
未払配当金除斥益	731	160
貸倒引当金戻入額	-	411
その他	401	267
営業外収益合計	4,868	1,526
営業外費用		
支払利息	12,972	12,480
デリバティブ評価損	-	4,824
為替差損	-	1,598
その他	616	1,397
営業外費用合計	13,588	20,301
経常利益又は経常損失(△)	△131,285	115,575
特別利益		
新株予約権戻入益	-	3,474
特別利益合計	-	3,474
特別損失		
貸倒引当金繰入額	-	27,534
特別損失合計	-	27,534
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△131,285	91,515
法人税、住民税及び事業税	1,264	71,958
法人税等調整額	△29,990	△13,752
法人税等合計	△28,725	58,205
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△102,559	33,309
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,459	△377
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△98,099	33,687

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年6月1日 至 平成27年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年6月1日 至 平成28年2月29日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△102,559	33,309
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	△102,559	33,309
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△98,099	33,687
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,459	△377

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成27年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	オークション関連事業	エネルギー関連事業	計		
売上高	717,844	588,717	1,306,561	312	1,306,873
セグメント利益 又は損失(△)	△110,400	△9,400	△119,801	△2,763	△122,565

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、医療機関向け支援事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成28年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)2	合計
	オークション関連事業	エネルギー関連事業 (注)1	計		
売上高	686,210	1,767,870	2,454,080	2,538	2,456,618
セグメント利益 又は損失(△)	△40,035	175,524	135,489	△1,138	134,350

(注) 1. 当第3四半期連結累計期間において、従来の「再生可能エネルギー関連事業」から「エネルギー関連事業」へ事業名称を変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの名称で記載しております。当該変更については、名称変更のみであり、報告セグメントの変更はありません。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、医療機関向け支援事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。